

大学模擬授業(その1)

10月18日(土)、大学等の先生方を招き、進路学習の一環として、1年生を対象に大学模擬授業を実施しました。授業は、15講座を60分2コマ開講しました。生徒は、希望する講座を2講座選んで講義を受け、学部・学科について学びました。文理選択をする上でも大いに参考になりました。



講座名【母性看護学・助産学】
鹿児島大学 医学部 保健学科
講師 井上 尚美 先生

胎児の回旋という専門的な内容を、画像や模型を用いてわかりやすく解説していただきました。看護師や助産師の仕事内容について初めて知ることが多く、ほとんどの生徒が興味深かったと感想を述べていました。生徒たちは生命誕生の神秘に感動し、両親に改めて感謝の気持ちを持ったようでした。「赤ちゃんは生まれながらに生きる力を持っている」「今の自分の健康状態が子孫の健康に影響する」など、生き方を考えさせられる内容でした。



講座名【食物栄養】
鹿児島純心女子短期大学
講師 進藤 智子 先生

よく噛んで健康づくり～噛ミング° 30(サンマル)のすすめ～

日頃、私たちは一口食べる毎に何回噛んでいるだろうか・・・。一口 30 回以上噛むことが元気でハ

ツラツと長生き人生を送ることにつながります。噛む事の大切さを学びました。

前半は栄養士についての説明がありました。公衆栄養とは栄養の指導であり栄養士の最終地点。病気になる前に予防の手立てを伝えていくこと。その中で噛む事の大切さの説明がありました。噛む事の大切なポイントとして ①肥満の予防 ②唾液の効用 ③脳の働きの活性化 の三つがあります。日頃からよく噛んで食べることが大切だと感じました。



講座名【経済学ひらめき】
鹿児島国際大学 経済学部
教授 カムチャイ ライサミ 先生

教授の出身がタイであることから現在のタイの様子を紹介していただいたあと、経済の講義をしていただきました。

経済学を学ぶと ①希少資源を有効に活用できる ②正しく合理的な判断ができる ③処世術がうまくなる ④就職に強いというような利点がある。進路に迷いがあったら経済を学ぶべしとも話されました。

また経済に向く人とは ①論理的思考が好き ②経済社会に関心のある人 ③合理性に納得いく人 ④無駄を省きたい人 ⑤好奇心・向上心を持った人 など述べられました。経済学の基本として ①希少性 ②機会費用 ③比較優位論の3点が基本だということです。



講座名【職場のワークルールを学ぶ】
志学館大学 教授 畑井 清隆 先生

法学の概要から昨年度施行された無期労働契約への転換に係る法律まで、密度の濃い講座でした。特に労働に関する法律について、専門用語の使用頻度は高かったのですが、具体的な事例を示しつつ丁寧に解説してくださいました。いずれ必ず自身にも関わってくる「労働」とそれを取り巻く法に対し、生徒はそれぞれ真摯に向き合っていました。



講座名【子どもの育ちと「間違い」】
鹿児島女子短期大学 教授 山元 有一 先生

子どもの枠を超えた発想や、「今」の実感を大事にする子どもの考え方、言葉の発達段階、小さいころの学びが今に繋がっていることなど、様々な角度と体験から講義してくださいました。

子どもは、「間違い」をたくさんしますが、そのひとつひとつが成功に繋がっているということでした。そのような「間違い」を経て、成長する子どもを見守り、認めることの大切さを学びました。



講座名【身近なものから心理学を学ぶ】
鹿児島大学 法文学部 人文学科
准教授 横山 春彦 先生

心理学の対象は人間だけではない、ということで「のらねこの研究について」話を聞きました。様々な行動の統計から、アプ°ローチの行動(仲良くするという)は受け入れてくれる人にするということが、ネコの行動から読み取れるということでした。

その他「花・昆虫・鳥」などそれぞれの観察から、見えてくることの共通点を見つけ研究しているそうです。また、勉強や研究では物事について「疑問」を持つことが大事で、勉強は覚えるだけでなく、自分で獲得していくことを教わりました。



講座名【私が教師を続けている理由】
鹿児島国際大学 福祉社会学部児童学科 教授 千々岩 弘一 先生

「教育話法」を駆使して、さまざまな体験をもとにしながら、教師という職業の魅力について、また、何かに一生懸命に打ち込むことの大切さについて熱く語っていただき、生徒たちは「千々岩ワールド」に引き込まれていきました。

